

授業科目 南アジア文化研究演習 I	単位 2 単位
授業担当者	授業期間 休講
授業の題目と概要 「インドの都市の社会と文化」 1990 年代以降のインドの急速な経済発展は、特に都市の新中産階層の成長を促した。また都市生活のグローバル化や様々な電気メディアの普及浸透もあり、インドの都市は著しい変容を遂げている。都市の社会と文化は、21 世紀のインドを考える上で重要な鍵を握っているといっている。しかし、その重要性に比べると、従来のインドの人類学は都市にあまり注意を払ってこなかった。この演習では、変容著しいインドの都市を多角的に理解するための視座や方法論を探ることを目標にする。	
授業の内容と計画 前半はムンバイ（旧名ボンベイ）の政治・経済・社会・文化を扱った英語文献（文献名は下記のテキストを参照）を受講者で分担して、講読する。受講者は必ず文献のどこかの部分を担当して内容や論点を要約・発表し、他の参加者とともに討論する。 後半は受講者が自分のフィールド調査の内容を、前半で討論した論点と関連させながら分析し発表、これに対して参加者がコメントを加え討論する。 途中で、民族学博物館の南アジア展示の見学、教員が行っているインドの都市祭礼に関する映像資料収集の成果を受講者に公開し検討を加える、といった現地調査に即した授業も数回取り入れる予定である。	
使用する参考書、参考論文等 前半の講読で取り上げる予定の文献は以下の通り。 Hansen, Thomas Blom. <i>Wages of Violence: Naming and Identity in Postcolonial Bombay</i> . Princeton University Press. 2001 Kaur, Raminder. <i>Performative Politics & the Culture of Hinduism: Public Use of Religion in Western India</i> . Permanent Black. 2003	
成績評価基準 授業への参加、発表や討論の平常点に基づいて成績を評価する。	
その他の留意事項 特になし	